

授業科目名	器楽演習（鍵盤楽器）(2100122)		
時間割名	器楽演習（鍵盤楽器）(45101)		
時間割担当	瀧明知恵子 青山雅哉		
実施期	前期	単位数	2 選択
曜日・時限	木・5		

授業の目標・概要

ピアノを媒介とした表現力の向上を目標とする。

- (1) 伴奏パートの持つ音楽的な内容を的確に把握し、曲のイメージに合わせて表現を工夫することが出来るようにする。
- (2) 学校や幼稚園において役立つよう、各自の技術的レベルに応じて簡易伴奏が弾けるようにする。
- (3) 学校や幼稚園として求められる音楽的感性を養うため、新しく発表された童謡にも目を向け、柔軟な取り組みが出来るようにする。

学習の到達目標

小学校や幼稚園教諭に必要な音楽的知識や技術（歌唱やピアノ実技など）の基礎を習得するとともに、子どもの音楽的発達過程を理解し、それを踏まえた音楽活動の内容や教材の活用について学ぶ。

授業方法・形式

集団、個人、形式を変えながらピアノレッスンを行う。
個人練習の後、実践発表を行い、互いに意見交流を行う。

授業計画

- 第1回 オリエンテーションおよびピアノレッスンのためのアンケート
- 第2回 譜表・音符と休符 / ピアノレッスン
- 第3回 リズムと拍子 / ピアノレッスン
- 第4回 鍵盤楽器を含む簡単な器楽演奏（和音を中心に） / ピアノレッスン
- 第5回 鍵盤楽器を含む簡単な器楽演奏 / ピアノレッスン
- 第6回 こどもの歌唱行動の発達（就学前まで）および音楽理論の復習 / ピアノレッスン
- 第7回 こどもの歌唱行動の発達（中学校まで）および音楽理論の復習 / ピアノレッスン
- 第8回 発声・歌唱（就学前の曲中心） / ピアノレッスン
- 第9回 発声・歌唱（小学校の曲中心） / ピアノレッスン
- 第10回 弾き歌いの練習（就学前の曲） / ピアノレッスン
- 第11回 弾き歌いの練習（小学校低学年の曲） / ピアノレッスン
- 第12回 実践発表 自己評価をする
- 第13回 実践発表 相互評価もする
- 第14回 実技試験リハーサル
- 第15回 授業の総括として、実技試験を行う。

成績評価の基準

定期試験およびピアノ課題の到達状況：60%
平常点（授業への取り組み）：20%
ピアノ課題の進捗：20%

準備学習・復習及び授

ピアノのレッスンを受けるにあたり、毎回課される課題曲（ピアノ曲もしくは弾き歌い）の練習を行うこと。音楽理論については、特に読譜が困難な受講生は楽譜に慣れるよう、配布した課題やテキストの指摘箇所の予習復習を行うこと。

履修上のアドバイス及

時間を守り、配布した課題やテキストの用意、集中して取り組む等、基本的なルール・マナーを守る。

教材・教科書

随時指示する。

参考書

随時指示する。